

**「三菱地所グループの防災倶楽部」が第1回「日本トイレひとと大賞」を受賞しました  
～災害時の“トイレの備えの大切さ”を伝える防災訓練の取り組みが評価されました～**

今般、三菱地所レジデンス株式会社の社員有志によるボランティア組織「三菱地所グループの防災倶楽部」は、特定非営利活動法人日本トイレ研究所が主催する第1回「日本トイレひとと大賞」を受賞しましたのでお知らせします。

本表彰を受賞した「三菱地所グループの防災倶楽部」は、2014年にマンション管理組合の防災意識・訓練を進化・深化することを目的に、三菱地所レジデンスの社員有志によって立ち上げたボランティア組織で、三菱地所レジデンスが分譲するマンション「ザ・パークハウス」において、防災訓練を実施しています。東日本大震災で排泄関連(トイレ)で苦勞した声が多くあったことを受け、マンション居住者が「自らトイレの備えをしていくこと」を目指し、トイレに困ったことをマンション居住者に伝える活動を行っています。また、防災倉庫に備えているマンホールトイレの組み立て訓練や、排水管が破損しマンホールトイレすらも使えないことを想定した凝固剤の使用訓練など、トイレに関する訓練も積極的に提案・実行し続けています。

日本トイレひとと大賞は、トイレ環境や排泄をとおして社会が抱えている課題に取り組む「ひと」を表彰し、「ひと」に光をあてることで、トイレ・排泄の改善に取り組む思いを共有し、「トイレ・排泄」に対する意識を高めていくことを目的に、本年度より創設されました。「三菱地所グループの防災倶楽部」は、災害時のトイレの備えの大切さを伝え続けている活動が高く評価され、本表彰の受賞にいたりました。

三菱地所グループでは、1923年に発生した関東大震災以降、約90年に渡り大規模な防災訓練を実施しており、グループ全体で防災・減災に取り組んでいます。「三菱地所グループの防災倶楽部」は今後も災害時のトイレの備えの大切さを伝え続け、より多くの人々が自ら備える社会の実現に向け取り組んでまいります。



▲11月5日に開催された第1回「日本トイレひとと大賞」表彰式の様子

## ■「トイレの備えの大切さ」を伝える防災訓練の取り組み

### STEP 1



▲東日本大震災の被災地で伺った生活者の生の声を伝える

### STEP 2



▲実際に体を動かしてマンホールトイレを組み立てる

### STEP 3



▲トイレ設置に適する下水道本管に近いマンホールの位置を確認する

### STEP 4



▲排水管が使えないことを想定した凝固剤の使用を体験する

(参考) ザ・パークハウスの防災プログラム HP  
日本トイレ研究所 HP

<http://www.mecsumai.com/bousai/>

<http://www.toilet.or.jp/>